

糖尿病の「け」が

あると言われたら

健康診断などで、「糖尿病のけがある」と言われたことがある方はいないでしょうか？

「糖尿病のけ」とは何でしょう。

「け（気）」とは実体ははっきりしないが、その存在が感じられるもの、気配のことをいいます。糖尿病の「け」はまだなっていないけれども、なりそうな状態を示しているようです。

それでは糖尿病の「け」があると言われたらどうしたらいいでしょうか。

本物の糖尿病にならないためにできることから始めましょう。



プログラム

13:30 開場

14:00 開会のあいさつ

～共同大学院構想について～

花里真道 千葉大学予防医学センター 准教授

14:20 講演1「糖尿病の「け」があると言われたら」

講師：櫻井健一 千葉大学予防医学センター 准教授

千葉大学医学部附属病院

糖尿病・代謝・内分泌内科 糖尿病専門医

15:40 質疑応答

15:55 閉会のあいさつ 花里真道

日時：2015年6月28日（日） 13:30 開場 14:00開演

場所：千葉大学 西千葉キャンパス 社会文化科学系総合研究棟2Fマルチメディア会議室

参加費：無料

申込方法：事前申込不要

主催：千葉大学予防医学センター

共催：NPO次世代環境健康学センター

問い合わせ：043-226-2017

（千葉大学予防医学センター）

